第四弾

万亭應賀作

弘化丁未春新版

倭文庫七編

へ13
2549
4

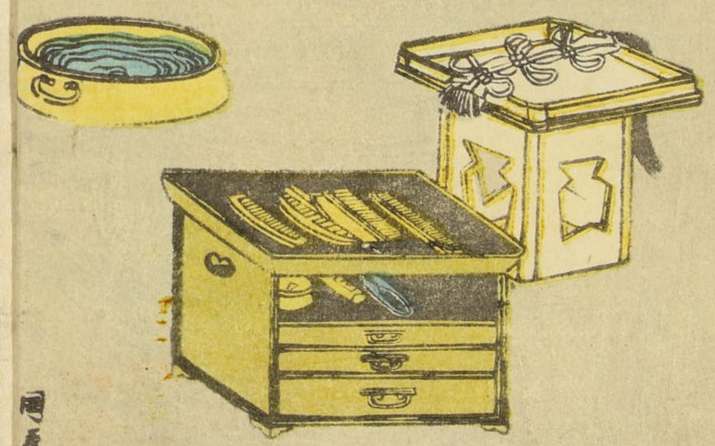
門 へ13
號 3749
冊 1

釋迦八相倭文庫七編上冊

弘化四年丁未春新板

万亭應賀作
歌川豊國画

錦重堂壽櫻



釋迦八相倭文庫七編之序

世日天竺有王而有二夫人一夫人生千之子次第比日當作佛第一具留孫佛第二拘那含佛第三迦葉佛第四釋迦牟尼佛乃至第千樓至佛也以上千佛皆現在賢劫中佛也又第二夫人生二子二子誓曰願以成金剛神居千兄出世佛法也後人謂之門前之二王也

門へ13
號3749
冊1

巻小見えそれど何ぞ那れ秩是非の沙汰へ天竺ろれば且さて置き日本の人情ふ摹擬ー五常をいを既ふ此巻七編ハ悉達太子の立春宮ろ后とめとるとまでを記す

弘化四年丁未春新版　万亭應賀述

悉達太子御歳
十五歳の二月八日
春宮初立
元服一卷

優陀夷の
女房

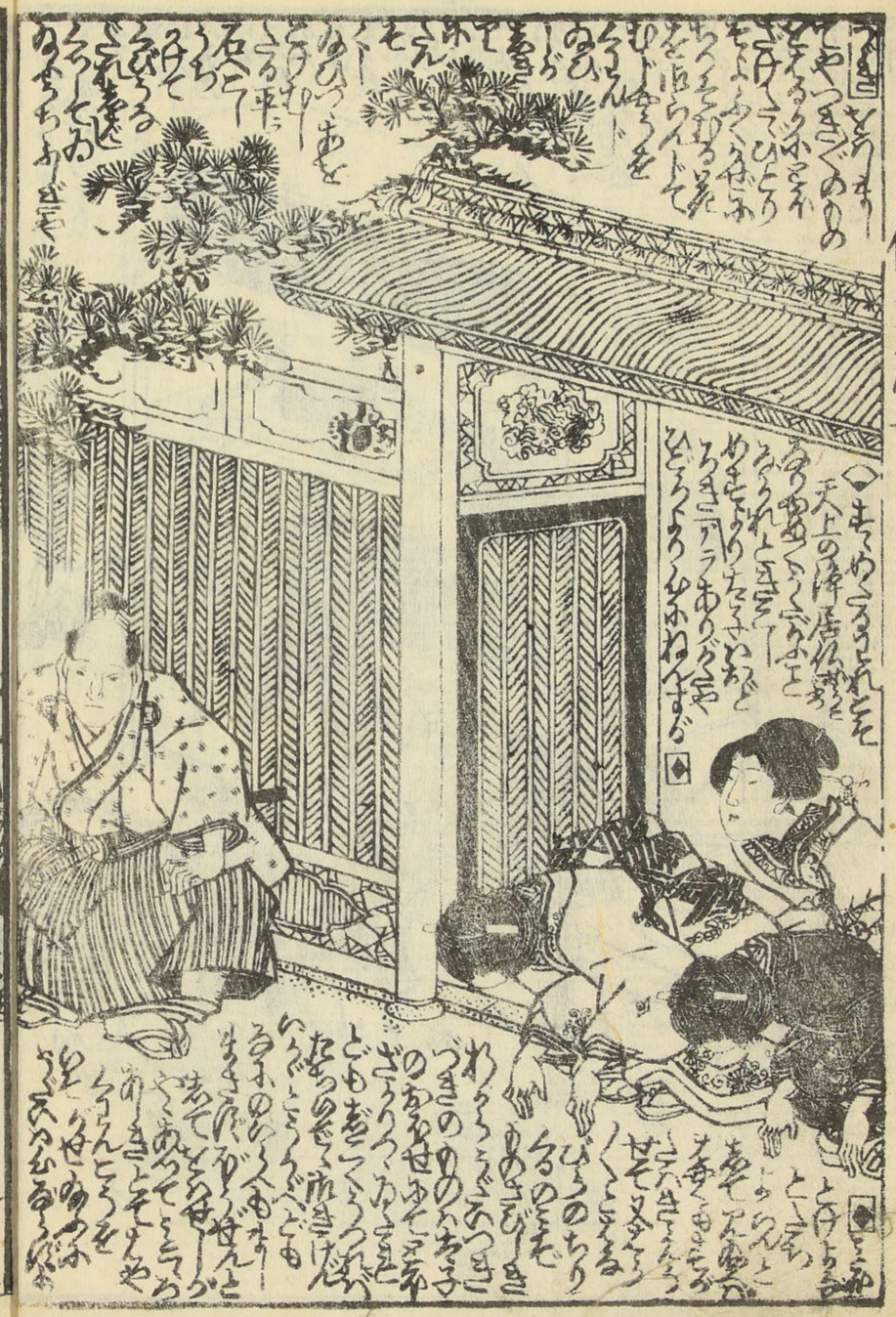
悉達
太子

悉達
太子の后
鹿野女

悉達太子の后
瞿陀弥女

迦夷衛國王の嬢
耶輸陀羅女
迦毘羅城の悉達
太子ふ嫁し給ふ
乳母

侍女
力士
右林士



つぎき　あるとくの主の
妻女ちあのうちとろ
ろーろーろ紀をもま
こせんきいくさをべ
さてこれかつきそこ
城南せんかあんこと
さを造をぞうせよ
らくまでるけまと
ともこの彩さきん
のよそあひい
まろひげのかい
たるとろこそて
そをさりをよ
ちりそあみるこ
のここへうつをとこ
どりのくのあさぢか
たこのまりをさ
めのこのいあきを
ひこりしてごてこの
月のこりるくちこの
花のむしろを
ふめきこ
のつこりは
ふよそ
こ男の
けきものり
まよひきも

浄

ゆ　ゑげんり
むのうそるふ
みきの者とれ
ゆくけげくん
しやりまれ
しやこまし
ゆりとも
宮中を
のれのそ
んりくも
さこりんり
アラ　あさまりの

みりきたそたう
まりひまりこを
べーとのとる
こるそんん
ここりふ
うこのは
あつき
ものりめと
ちこりちふ
うこりひこりう
たでちふんせう
たここのをきふ
ふりをつまひこりふ
ひきたそひこを
ねんふれんを入れ
てもらこを日ふつそ
まりはそこりこりを
かそりせけるこそ又
ふこりはきーこえ
らんひゆをえこりう
かこりせのひてんん
まこりこりもりれ
めこりはこれこりせ
せんのコここここ
りこりれこりきこの
ちこりかきこりりと
あきりこと　の人バ㊥

豊國画 應賀作

安政三丙辰春新板目録

倭文庫 三十四編 三十五編 三十六編 三十七編 万亭應賀作 陽齋豊國画

赤松譚 九編十編 如淵外史作 同画

亘井菱 六編七編 為永春水作 同画

譚柄璃璃 四編 西澤一鳳作 五編 勇齋國芳画

茶番案文 全冊 万亭應賀作 陽齋豊國画

神代そだち 三編 同 四編 勇齋國芳画

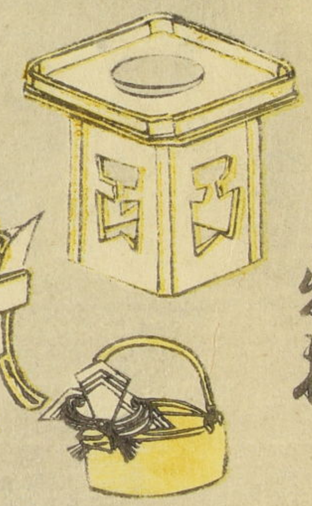
金本類錦絵人形 上州屋重藏

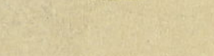
一陽齋豊國画

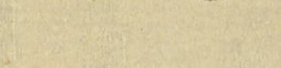
錦重堂版

傳文庫

七福人







慶賀化

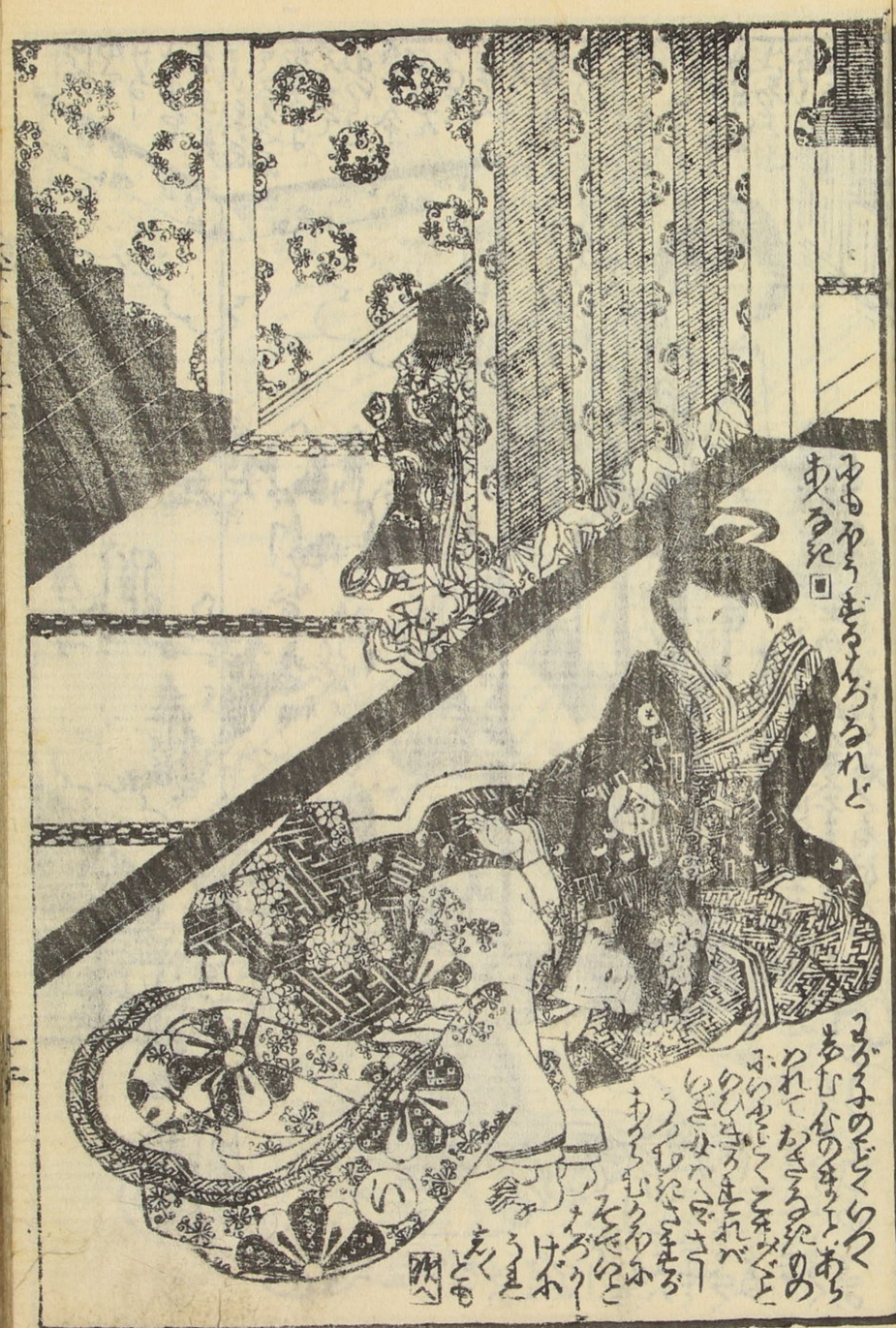
元文版早代地角

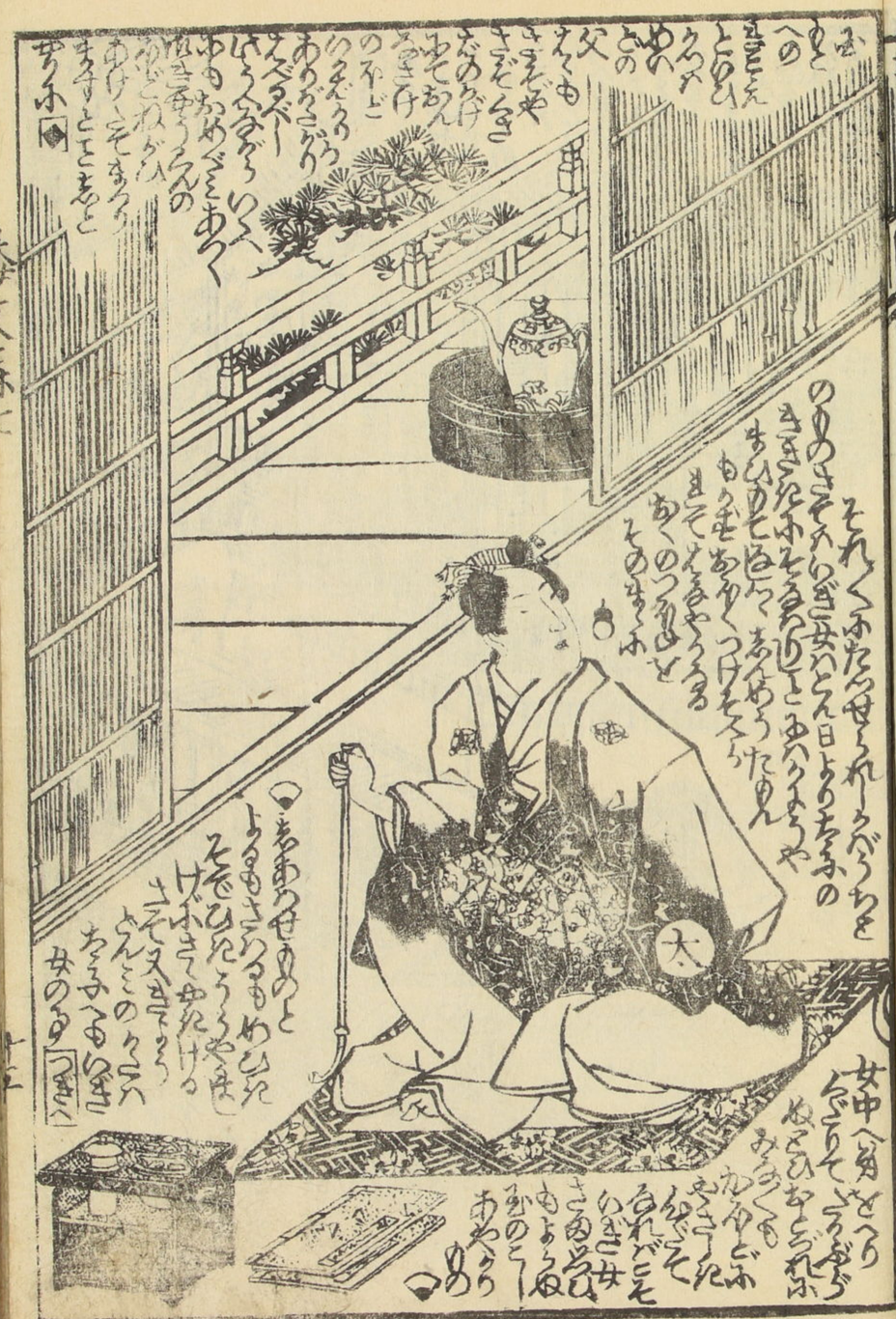
赤毒

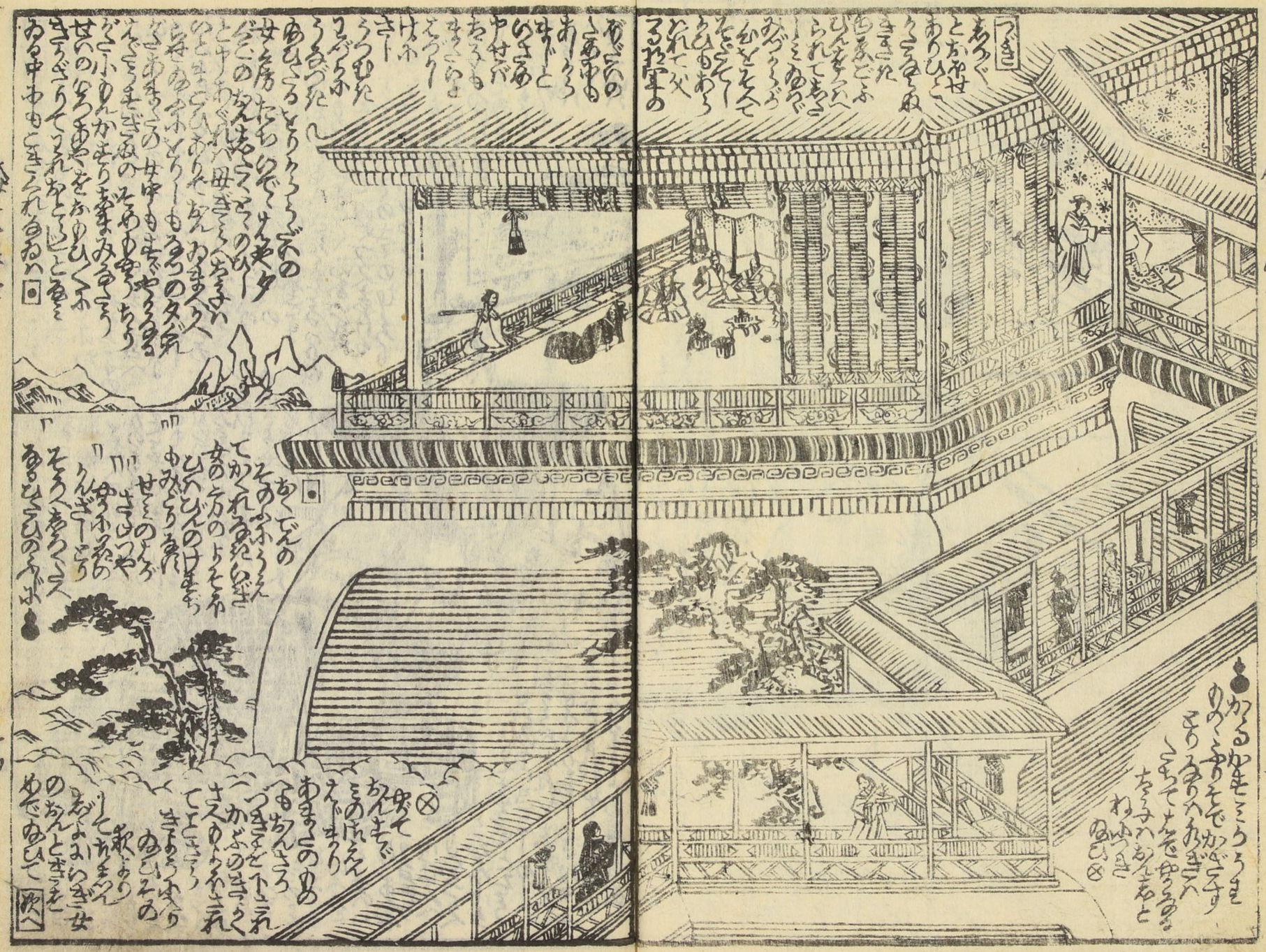
彩梓

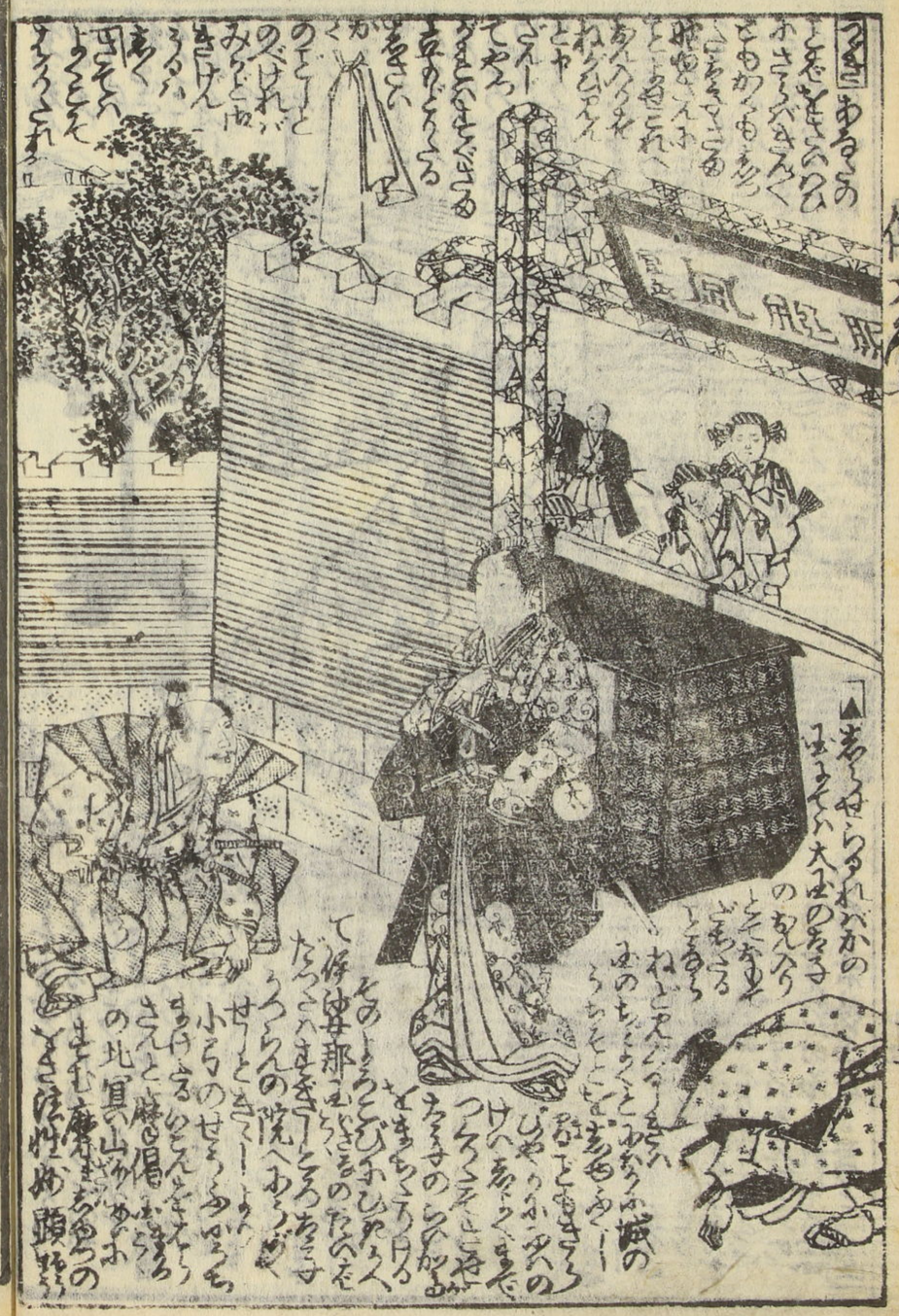
国貞画

上只屋重兵衛板





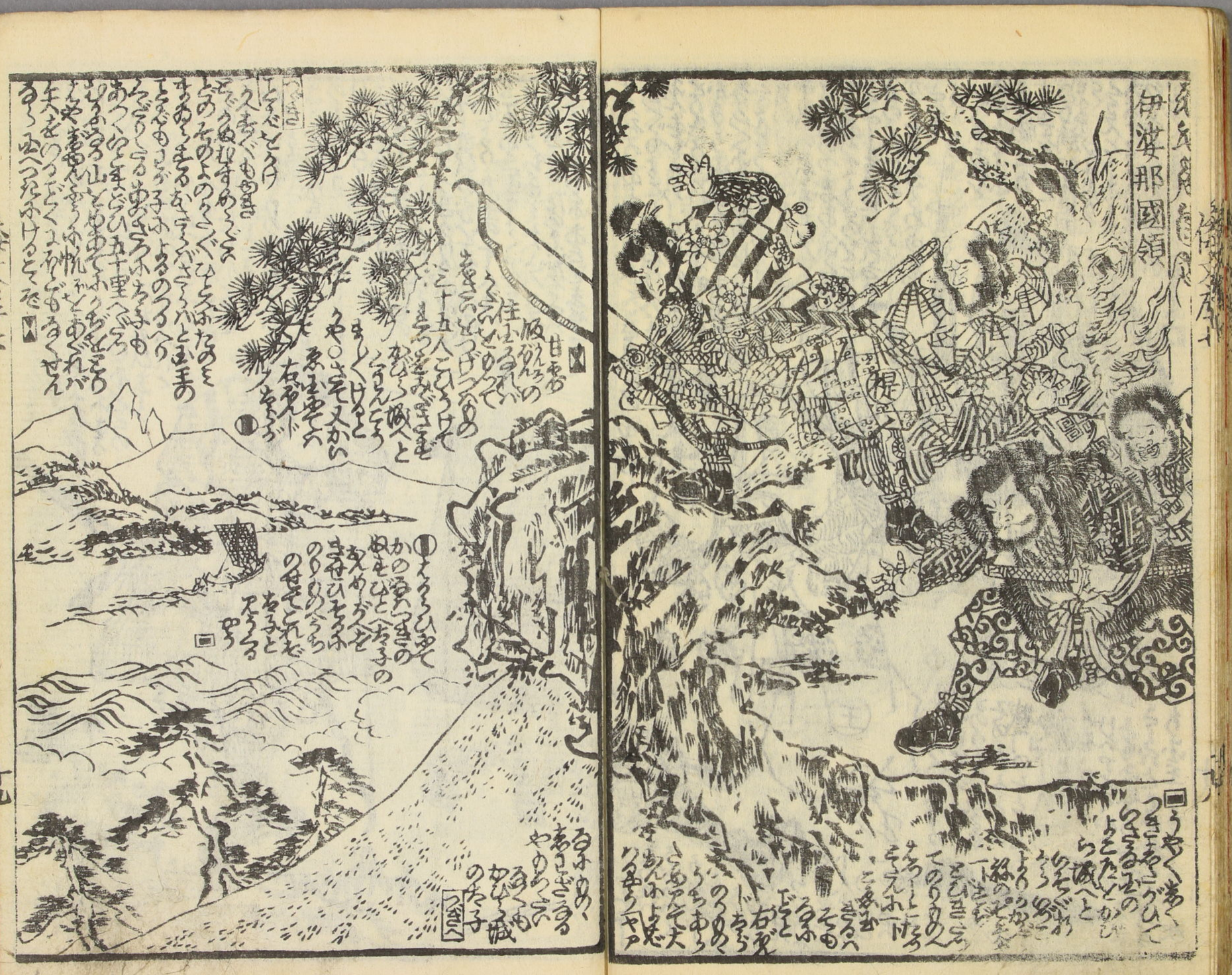




提

右

大
う
王
賊


伊予那國領

右

万亭應賀作 一陽齋豐國画

▲かびら城へと
まそこらる
めで

○この次八編
九編十編
のうちより
とく出来出板
ひきつづき出板
仕いかまつる
ゆゑほうらの
わどひとつよ
き事上い
板元

安政三丙辰春新板目録

倭文庫出世双六　万亭應賀作　一陽齋豐國画

春の手遊　将棋双六　同　歌川貞房画

男女振合　役替双六　同　一陽齋豐國画

大寶御江戸圖　極上摺　奉書六枚半續　初編　二編　出板

清元稽古本　初編　二編　追ゝ出板仕い　三編　四編

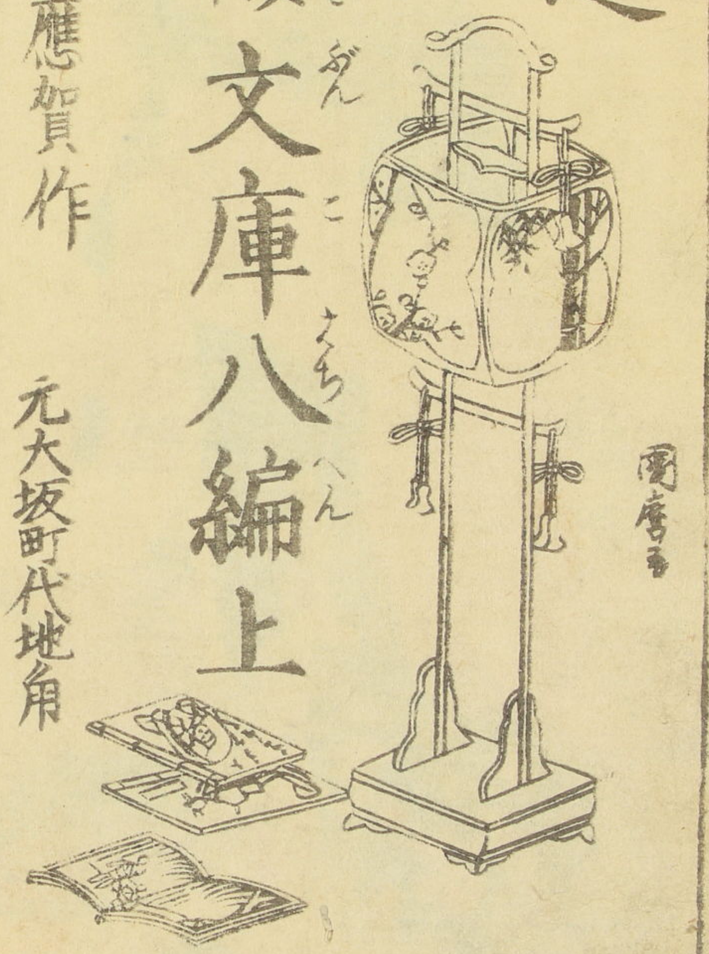
常磐津懐中本

極上摺百枚揃　擬百人一首　毛の揃ひ百枚揃ひ　仕立ては　陽齋豐國合筆　貞房　立齋廣重筆

万亭應賀作

上

釋迦八相倭文庫八編上



万亭應賀作

一陽齋豐國画

元大坂町代地角

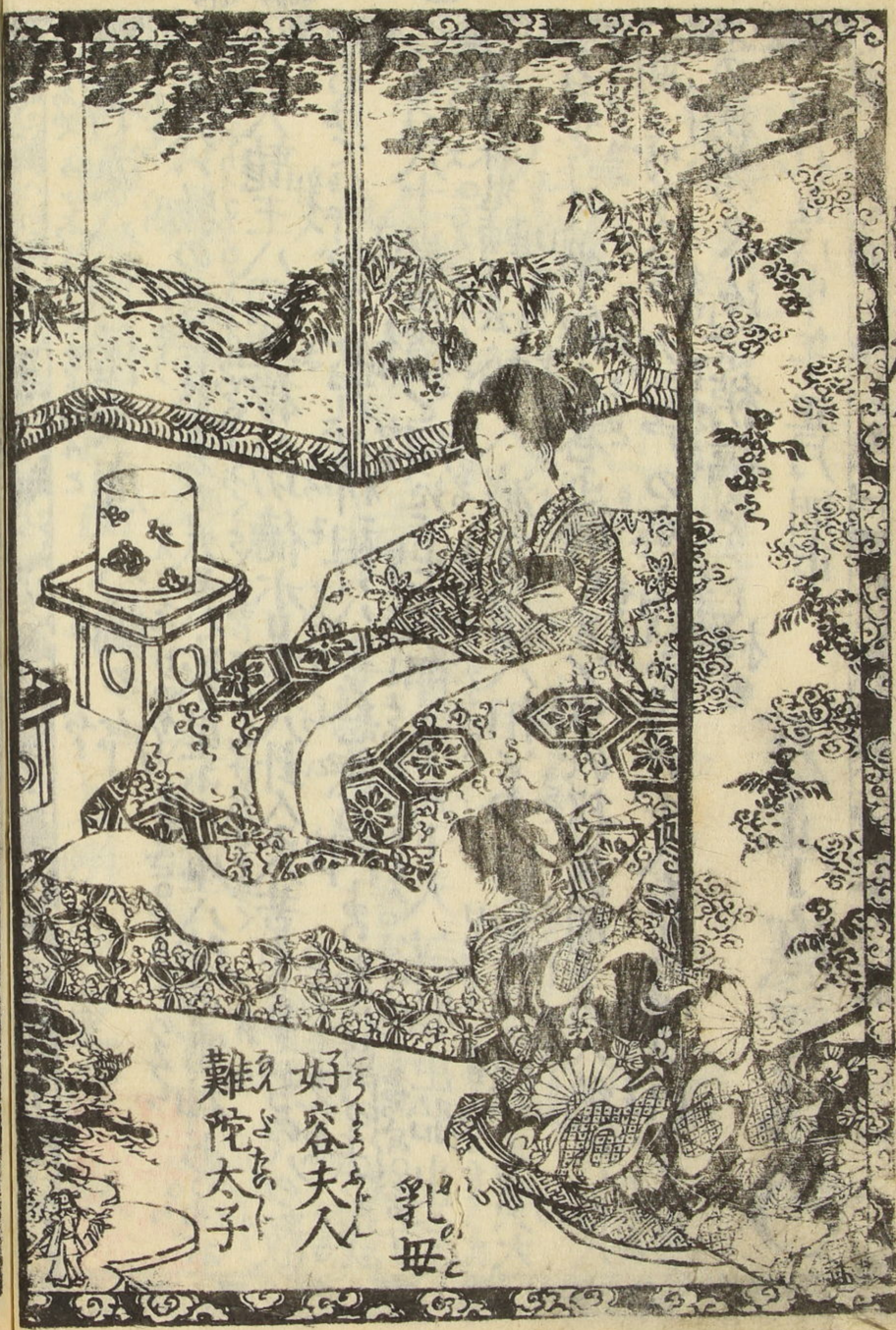
上州屋重藏版

釋迦八相倭文庫八編の序

夫八ハ物の名付ふまて天ふ八家星ふ八座八種の雷神ふ地ふ八大龍王八間地獄八功徳水見ふ八封人ふ八苦あり是ゝ皆ゝの八の数あげて筆舌ゝ尽れが佛祖ハ正慈悲の門より出ハ萬の法と説ゝ八十歳の霜を頂て生天都率天下天託胎出胎出家降魔鬼轉法輪入滅の成道八相とあらい説法の經文廣大なれど法華經八巻ふ勝れると少び扶ふの冊子の八編八百八町と唱えるる大江戸の水を硯ふたゝへ八千八万の啼く沢ゝ八月の初めつゝ迄ふ稍稿ゝりて上梓せ

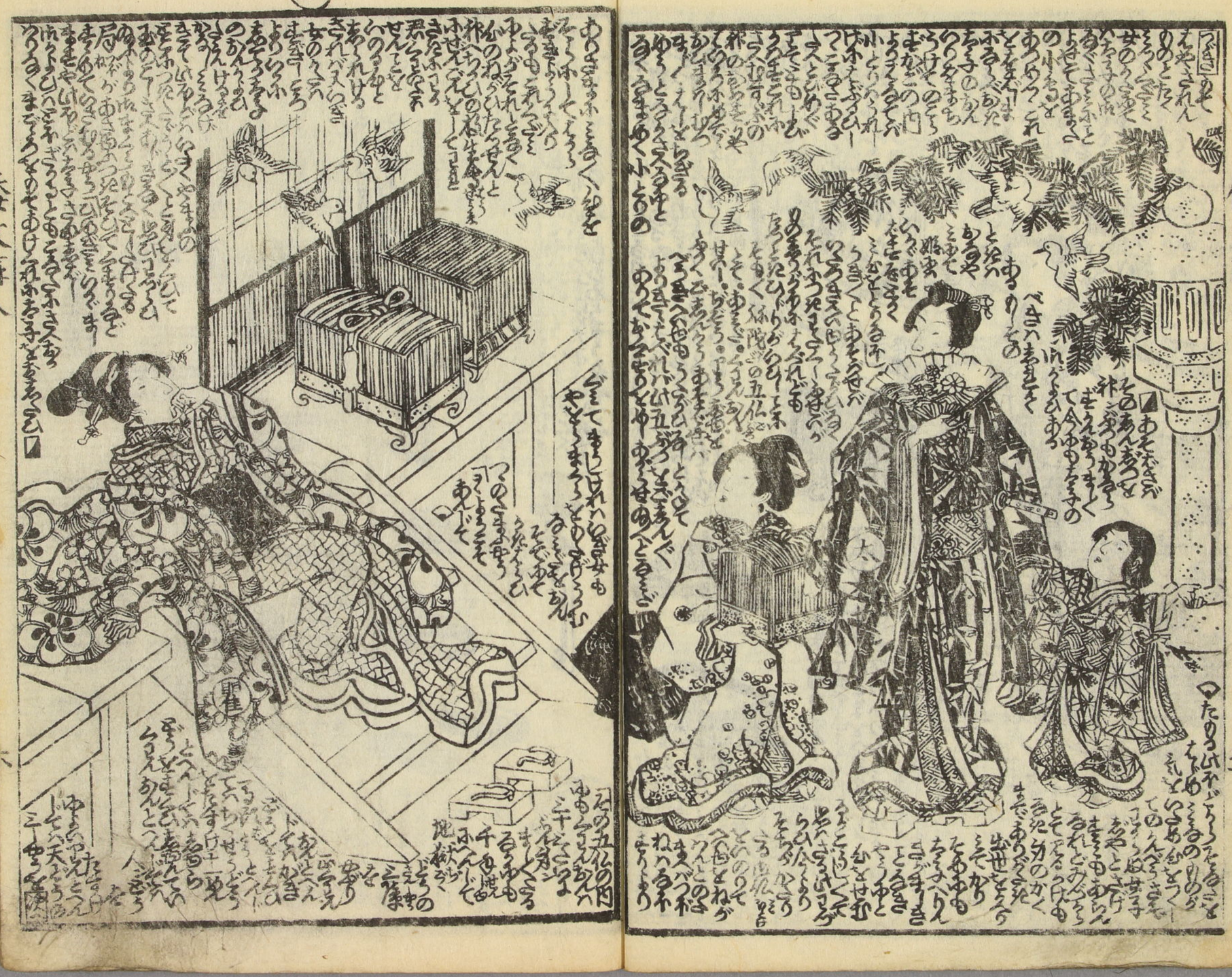
弘化五戊申年正月冊市

万亭應賀誌


乳母
好容夫人
難陀太子

王
浄飯
優陀夷の女房
浄飯大王の髪把
破利金鼎宮の
好容夫人
難陀太子
と産ぬ

悉達太子
耶輸陀羅女
好容夫人の兄
敬師の
夜叉軍士
私良戸国の
達波太子ハ組して悉達の
難陀の
両太子
毒菓を捧んとす
夜叉軍士の
妻吉祥女



夜

安政三年丙辰春新板目録

倭文庫　三十四編　三十五編　三十六編　三十七編　万亭應賀作　一陽齋豐國画

赤松譚　九編　十編　如淵外史作　同画

重井菱　六編　七編　為永春水作　同画

譚柄璃璃蔣　四編　五編　西澤一鳳作　一勇齋國芳画

茶番案文　全冊　万亭應賀作　一陽齋豐國画

神代そのは　三編　四編　同　一勇齋國芳画

金本類錦繪　江州屋重藏

倭文庫八編

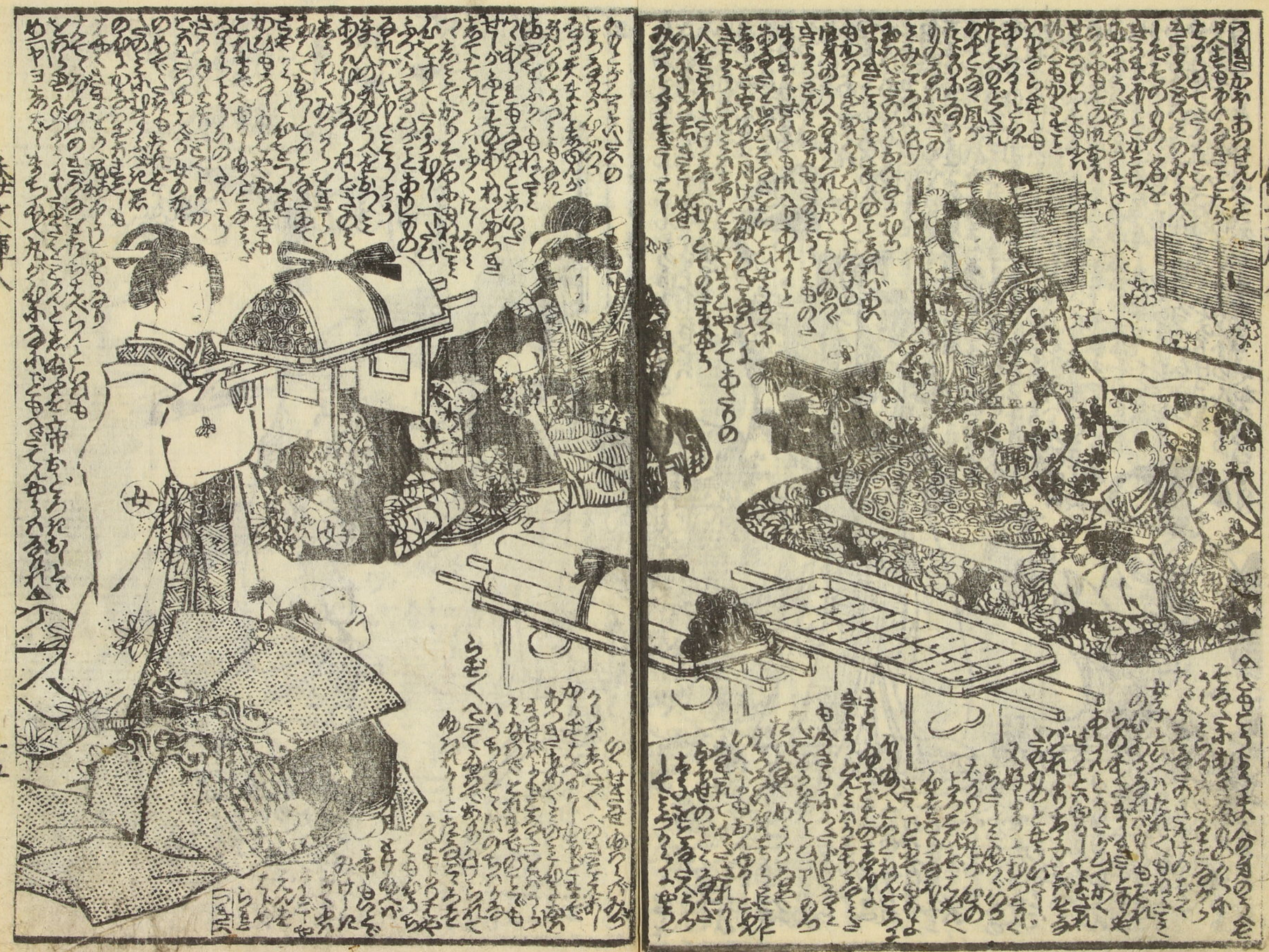
一陽齋豐國画

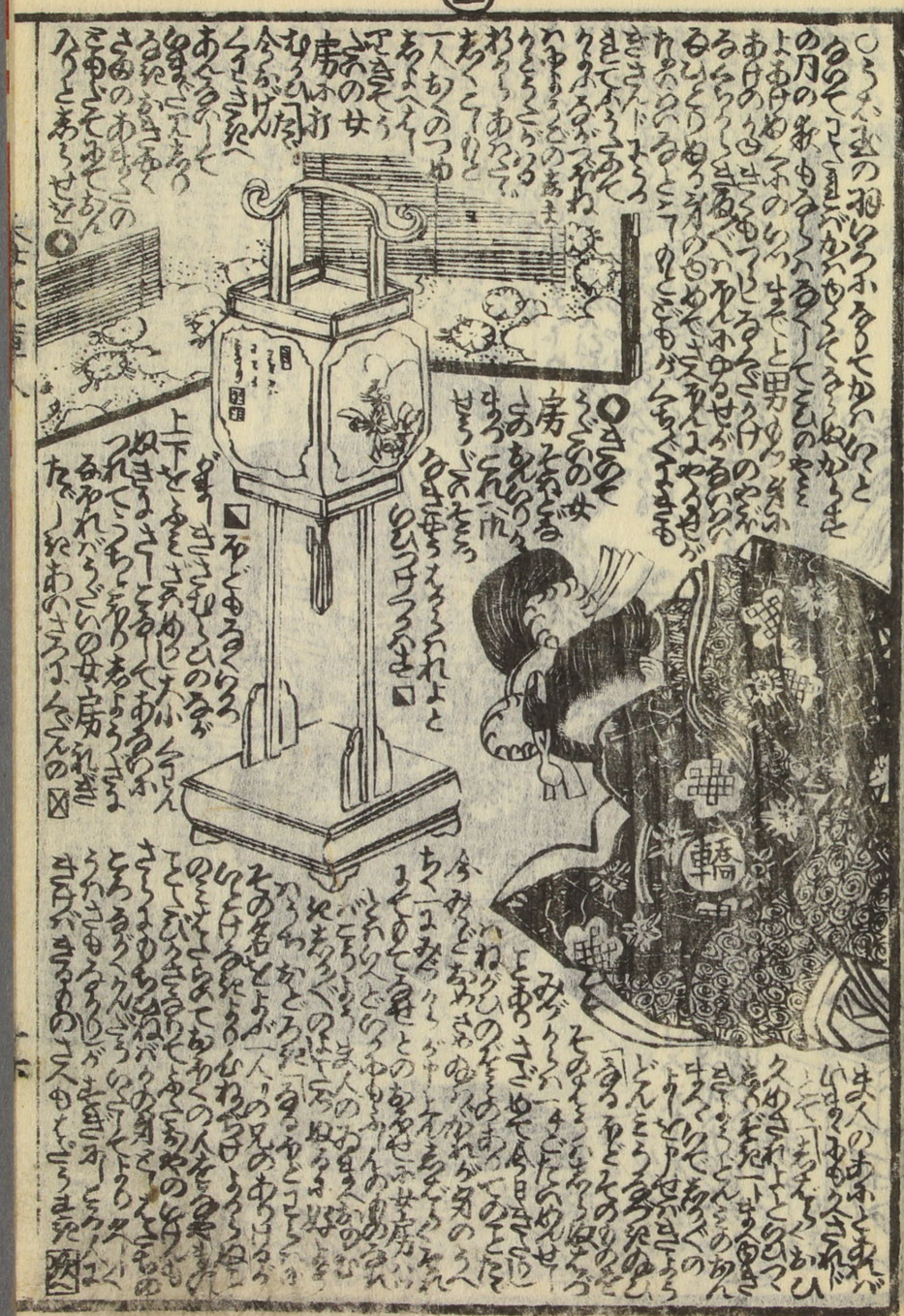
弘化五年
戊申孟春
發行

金壹堂版

下

慶賀作
八幡下
豊國画
申春
新彫
金重堂梓




輪
車

浄

夜

女

夜

夜

吉

右
吉
好
う

万亭應賀作

一陽齋豊國画

安政三年丙辰春新板目録

倭文庫出世双六　万亭應賀作　一陽齋豊國画

春の手遊　将棋双六　同　歌川貞房画

男女振合　役替双六　同　一陽齋豊國画

大寶御江戸圖　極上摺　奉書六枚半續　初編　二編　出板

清元稽古本　初編　二編　追ッ出板仕り

常磐津懐中本　初編　二編　三編　四編

極上摺百枚摘　擬百人一首　一陽齋豊國合　勇齋國芳　立齋廣重筆

式部内侍